

あたらしい・はたらくを・つくる

日本の憲法は、全ての国民に勤労の権利を有し、義務を負うと約束しています。

ですが障害があるということで、幸せを生み出すはずの“はたらく”権利を使えない、障害のある人がまだまだ多く暮らしていて、多様な働く場と仕事が必要です。

また、障害が認定された人以外にも、現在の社会システムにうまくはまらず、働きづらさを抱えた人たちへの対策が、必要とされています。

そして、未だかつてない少子高齢化社会を迎える中で、地域の課題はどんどん山積み、複雑化しています。課題を解決し、社会のインフラを生み出すためのあたらしい企業を育てることが必要です。

奈良に必要な仕事は奈良で解決できる

私たちは、“あたらしい・はたらくを・つくる”ことを目指し、奈良県内の多様な事業体がつながる、事業協同組合を設立することを決意しました。

障害のある人の雇用の場をつくることに加え、奈良の地域の活性化に繋がる企業家を育て、多様な層の“はたらく”支援を進めていきます。組合も、共同事業を行うことにより、障害のある人の雇用の、新しいビジネスモデルとしていきます。

奈良県内の中小企業や団体が、奈良を元気にする役割を担っていることを認識して、“地元の仕事は地元で！”を合言葉に、“あたらしい・はたらく”を創ることにより、“奈良に必要な仕事は奈良で解決できる”を微力ながら実現していく決意です。

